

革新的シルエットと機能的造形がダイナミックな走りを映す、先進セダンドesign

■ロー＆ワイドを基調に走りの力強さをさらに強めたエクステリア

シビックを若々しく一新させ、スポーティーセダンを極めたいという想いから、ロー＆ワイドの基本骨格をもたらすダイナミックな走りを、空力などを考慮しながらさらに強調させたいと考えました。ホイールベースを長くオーバーハングを短くしてタイヤを四隅に配し、ルーフをはじめ全体のフォルムやフェンダーの造形、フロントマスクの表情など、すべてにわたってより低くワイドで伸びやかなデザインを形成。力強い疾走感に満ちた、よりダイナミックな走りを映すセダンスタイルとしています。

サイドビュー

スポーティーを強調するうえでまずはフロントピラーの位置を後退させ、なおかつ細くしながらルーフラインの弧を描き、リアピラーを極力寝かせてそのままボディー後端まで引き伸ばすことで、居住空間の広さを印象づけながらクーペのような走りのシルエットを実現。フロントピラーを後退させ細型にしたことで運転視界をより広く確保しながら、ルーフとフロントドアガラスとのフラッシュサーフেস化により空力や静粛性にも寄与しています。また、フロントバンパーから勢よく回り込んだ面が張り出し感の強いフロントフェンダーを形成。そこからエッジの効いたキャラクターラインをリアドアに向かって上昇させリアコンビネーションランプの最端へと落とし込むことで、グランドツーリングを優雅に疾走するような流麗さを表現しています。同時に、フロントホイールハウス後端からの面もキャラクターラインと平行に上昇させながらサイドシルには彫刻的な深い削ぎ込みを施し、リアドアで造形された3次元の面構成によってリアホイールアーチのボリュームを生み出しています。



SEDAN

フロントビュー

ボンネットを低く設定して運転視界を下方に広げながら両端を高くし、なおかつバンパーからサイドに回り込む面でフロントフェンダーにボリュームを持たせることで、タイヤの張り出し感を強調。さらには、フロントグリルからヘッドライトに伸びるクロームや、インラインタイプのLEDヘッドライト、大開口のエアインテークをイメージさせるバンパーなどによって、ロー＆ワイドの印象をよりいっそう強めています。

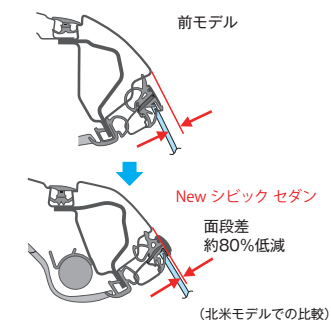


リアビュー

ルーフからの流れをそのまま延長するようなトランクリッド後端のフェンダー形状には空力効果を持たせ、スポーティーセダンらしさを強調。リアコンビネーションランプはHondaのトレンドを汲むデザインを踏襲したうえでライン発光のLEDテールランプを採用。ヘッドライトと同様に精悍なイメージを印象づけています。



■ルーフ/ドアガラスのフラッシュサーフেস化



(北米モデルでの比較)
ルーフとドアガラスが連続した意匠となるようドアサッシュとシールを新開発し、面段差を約80%低減（北米前モデル比）したことによって一体感のあるキャビンデザインと空力・静粛性に寄与しています。